

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

9年 逗葉大 (合	6月現在 地区計	会員数 149名 218名 41名 408名)	9年 加編 中	6月 藤 村	(299号) 行 集 岳 岳	者 相 者 愛
-----------------	-------------	-------------------------------------	---------------	--------------	----------------------------	------------------

創立六十周年記念
碩心会吟道大会特集号

碩心会創立六十周年を賀す

宇都宮徳岳 作

松韻鳴り来りて六十の春
同門切差し又相い親しむ
嘉年氣を養い吟詠を究め
斯道長えに傳えて碩人に報いん

六十周年吟道大会を終了して

大会会長 加藤 岳 相

大会前日の午後、寒河江の先生方を逗子駅に迎え、葉山の名所を案内して廻った時の豪雨、天気予報でも明日午前中も雨とのこと、六十周年記念大会も天候にめぐまれないかと落胆したが、大会当日は前日と打って變つて晴天、招待の或る先生からは、加藤先生は何時から心がけがよい人になっていたのだとひやかされた程のめぐまれた絶好の晴天日和になった。
六十周年大会が会員の皆様のご協力によつ

て、成功裡に終了出来ましたことに厚く御礼申し上げます。特に一年間に亘り、各担当準備委員の方々の苦勞、ほんとうに御苦勞様でした。何事をやるにも組織の力が大きければ大きな事が出来ます。今大会を契機に会員の皆様には、和と協力をモットーに、各自健康に留意し、次期六十五周年を目標に、会員の増強と、益々の吟道の研鑽をお願いして、記念大会終了のお礼の言葉と致します。有難うございました。

会員の皆様へ感謝

大会副会長 千葉 岳 関

この度の大会は大成功でした。自画自賛ではなくて、遠方からのお客様、又、大方の来賓の先生方の一致した評価でした。前夜迄の大豪雨が、当日朝は雲ひとつない大晴天となり、神仏の加護かと併せて嬉しく思いました。これも偏えに祖宗範木村岳風、碩心会創設者松井岳洋両先生の御遺徳の賜というべきでしょう。又、この日を期して約一年間、何回も打合せを重ね、万全の対策を重ねた会長以下役員一同の誠意努力の結果でもありました。加えて、同日は会員御一同が従来にも増して

諸々の活気ある行動に撤したことが、成功につながったものと考えております。

今回の大会で、思い出として残る私の記録三点を書いてみます。(1)祝詞を宇都宮徳岳先生にお願いした発案。(2)病氣療養中であつても、負けずに出吟した根岸岳萃顧問、三井岳瓏相談役両先生の奮闘ぶり。(3)姉妹会寒河江吟友会会長卯月岳儒先生他四名の先生達との交流懇親会等です。懇親会では、たくさんの意見交換ができて、今後の当会活動のため、大きな参考になりました。中村岳愛先生の連日の招待役の御苦労には、敬意を表したいと思います。

許証部長中村岳郵先生の、病氣大会欠席は誠に残念極まりないものでした。私がお宅に伺い、許証関係について充分な説明をいただき、当日遺漏なく終了したことは、まずまずだったと、ホッとした次第です。

なお、当日ささいな行き違いは、二、三あつたようですが、これは今後のため、各係の反省記録にとどめおくことが、よりベターであることを書き加え、私の感想をおわります。皆様本当に御苦労様でした。

六十周年大会ご苦労様でした

大会実行委員長 加藤 岳 洵

五月晴れの二十五日、会員四百余名を擁する我が碩心会は、六十周年の輝かしい伝統に培われ、六十余名のお客様を招請して、盛大に記念吟道大会を開催することができました。これも偏に、会員皆様がお互いに力を合わせて協力いただいたお陰と、ご同慶に存じます。特に準備と、当日の運営に携われた各部門(係)の方々には、大変なご苦労をいただき、深く感謝いたしますと共に、敬意を表する次第です。

会員皆様の「和」の結集が、大きな力となり、大会を成功させた喜びを分かちあいたいと思います。

又、今日の伝統を築かれた、創設者故松井岳洋先生をはじめ、歴代の会長先生のご尽力とご苦労に対し、改めて感謝いたす次第です。大会当日、お身体の不自由を押して、元気に吟詠された三井岳瓏先生、根岸岳萃先生の吟道に対する情熱と精魂こめた姿に接し、皆様も深く感動し、胸が熱くなったのではないのでしょうか。情熱と希望がある限り精神の若

さは失われぬものと感銘し、吟道の真髄を学んだものと思います。

今後も、この伝統を守り、更に発展させることが私達の使命であり、恩返しと心得、会員皆様と共に使命の達成に努力いたしたいと思ひます。

吟道を通じて、人生によい想い出を多く残すよう、そして碩心会の隆盛に、今後皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。今大会のお骨折りに対し厚く御礼申し上げます。

記念大会を思う

実行副委員長 松 井 正 岳

碩心会創立六十周年記念、自分の年令と重ね合わせてみて、これは大変な歴史なんだと、大会が終わった今つくづく思う。

大会までの準備で忙しい毎日であつたが、本番がイメージ通りに進行されたことで、苦労がむくわれた感じでした。

今になってみると、反省すべき点など多数あつたが、これからの大会に活かされると思う。役員並びに会員の皆様、大変ご苦労様でした。ご協力感謝申し上げます。

来賓招待係りの過程

来賓受付 中村 岳 愛

来賓係りとしての仕事は、まず招待状作成發送にはじまり、御出席の先生方への大会案内状を作成、プログラムと同封發送。又礼状を作成し、前日の準備段階で来賓招待者の記念品、胸章を詰めこみ用意しました。

又、私は遠方の寒河江からご出席の先生方の宿泊、観光案内等のお役を仰せつかりましたが、宿泊先は葉山の自慢、海の見える宿をと思い「県警葉山荘」にきめました。観光案内については、色々頭をしぼり「八景島」他を予定しておりましたが、先方の御都合により、大会前日の午後二時頃、会長他で逗子駅でお迎えし、あいにくの雨の中、森戸神社、しおさい公園、湘南国際村等をご案内し、宿に戻りしばし歓談のち、早目にお休みいただき、私達は準備のため文化会館へと向いました。

大会当日の来賓受付は、あらかじめ11名のメンバーの役割分担をきめておき、まずは無事に終了することができました。ただ申しわけなかったのは、私も吟、舞とで忙しく、山

口岳夕先生には終日席についたままで、会場内の様子などみることができなかったこと、心からお詫びいたします。

大会も無事終わり、懇親会をすませてお帰りの来賓の先生方にささやかなお花をお渡ししてお見送りしました。

そのあと寒河江の先生方を、私も同乗して宿にお送りし、その夜は会長以下頑心会から五名が合流し、宿泊先において交流懇親、楽しく意義あるひとときを過ごし、翌日逗子駅にてお見送りしました。何かと不行届きのこと多々あったと思いますが、これを機に、益々姉妹会の絆を深めてゆきたいと思います。

無事にお役目終る

来賓受付 山口 岳 夕

葉山文化会館に着くと、時間前はまだ会場が開かず、役員の方達は会場の外で待っていました。どの人の顔も、天気祝福されて晴ればれとした顔をしている。

会場が開き、各自が自分の部所の準備に入る。私は来賓の受付で、総本部、県本部、そしてはるばる寒河江からこられる先生方、他の方々をお待ちしました。

会員受付は早々とテーブルが片付けられ、

係りの人達は会場に入った様子でしたが、来賓受付は席を立つことができず、会場内の様子は知ることが出来ず、マイクから流れくる吟声を聞くしかない。来賓の先生方の名簿とにらめっこし、午後になってもみえない先生をお待ちして、会も終りに近い頃、最後の一人の先生がやっとお見えになり、名簿の全員が揃いホツとしました。結局会場内の席に一度も座ることなく終り残念でした。

何わともあれ、無事にお役目を終え、又大会も盛会に終り、六十年の節目の記念大会に参加できた喜びをかみしめ、次の大会に向けて新たに一步をふみ出し、又がんばらなくてはと心に誓いました。

プロ編成と当日の会員受付担当

会員受付 村田 岳 瀨

六十周年記念大会のプロ編成のお役をいただき、係りの方達と御一緒に、各支部への割当をし、この度は御招待の先生方を優先しましたので、会員吟は他の支部と合同ということになり、不安もありましたが、さすが頑心会で、皆さんの意気がある、立派な台吟とな

り安心しました。

構成吟は、タイトルを如何にしたらよいかと相談して案を出し、常任理事会にもかけて、何度も練り直し、最後に加藤岳洵先生に一筆加えていただき、ナレーターを作りました。プログラム係りの皆さんの協力で、何度も校正し、立派に出来上りました。色々お骨折りいただいた松井正岳先生には心から感謝しております。

当日は、会員受付を担当いたしました。役員の方々が、テキパキとチェックをし、早々と終ることができました。

お役目無事終了

連絡 木村 松岳

先ず以って六十周年記念大会の大成功、お目度度と申し上げます。

前夜24日の会場の整備、乃ち舞台の飾り付け、オーバーヘッド、その他の備え付けの時は大雨。25日の大会には、女性の方は和服で大変だとか、種々脳裡をかすめて、心の休まる時がなく、一年以上前から打合せ会議を行なって万全を期したこと、来賓の諸先生の出席がどうかとか、心配のあまり寝付きが悪く

て、なんで大会の日に雨が…と、天候をうらみました。

それが当日は五月晴れ。これで60周年大会も成功間違いなしと自然に笑みがこぼれました。連絡は受け付けと進行の間を往復するのが仕事。たいしたトラブルもなく無事終了。会員皆様の日頃の精進の賜で、碩心会の吟力アップを諸先生に披露できて、お互いにお目出度うと祝杯をあげましょう。会長先生始め、副会長、各役員、会員共に、大変御苦労様でした。

これからの目標に向って更なる努力を重ね、碩心会発展のためにがんばりましょう。

進行係りと初めての書道吟

進行 上村 象岳

夜来の大雨で寝つかれない夜がようやく明け、雨戸を開き思わずハンザイをしてしまいました。素晴らしい天気にも恵まれた一日が始まり、どんなご馳走にも勝るプレゼントを私達は頂いたのです。雨のための対応をすべて忘れて大会を開かれることに深い感謝の念をいだきつつ家を出ました。

前日の冷たい雨の中での仕込みでは、打合

せどうりといつても仲々思うようにゆかず、つい大きな声で（けんかでもしているよう）お互いに一生懸命で、思わず苦笑いをする場面もしばしば。何とか打合せも終り、家に帰ったのが9時を過ぎていました。

翌日の大会は9時20分予定通り始まり、大過なくプログラムが進み、時間通りに昼食時間が取れたのが何よりでした。出だしのセレモニー、会員吟詠、書画華道吟、式典及び祝辞、構成吟との流れの中で、進行役員のチームワークでスムーズに進み（自己満足？）役員の一人として皆様のご協力に感謝すると共に、進行役員一同に御礼申しあげます。

個人的には、書道吟での中村先生の代役がうまく勤まるかどうか気がかり、寝不足気味の日が続きました。書道は勤務先のクラブ活動で、吟歴よりも長くはなりませんが、素質の問題で仲々上達成らず、常に書を（かく）のではなく、恥を（かく）つもりで、今迄自分なりにやってきました。

この度貴重な経験をさせて頂きました。返子図書館ホールでの練習の時は、舞台の上で手が震えてしまい、このまま書くことができなくなるのではと、恐ろしくなり、引き受け

たことを後悔したほどでした。こうなれば練習より他に解決の方法は無いと心に決めて、なんとか恥を（かき）ながらも代役を勤めることが出来たかな？と、おこがましくも感じております。素晴らしい吟を背景に、佐久間先生の画と同じ舞台上、書ができた感激は時間の経過と共に、私の心の中の思い出として、大きく残ることになりそうです。

終りよければすべてよしのたとえ、役員としての仕事がまだあり、お客様の接待としての懇親会では「南京玉すだれ」や「マジック」で盛りあげて頂き、盛会裡に終了。懇親会場を片付けながら、大会をやり遂げた満足感でいっぱい、余韻を楽しみながら家路につきました。

大会欠席のお詫び

会場 中村 岳 郵

昨年2月21日の常任理事会が、第一回準備委員会となり、会場系の準備委員を受け、大会希望日の会場の早期決定が至上命令でしたが、会長の御配慮で確保され、契約をスムーズに行なうことができました。

本年になって、大会会場係に指名され、本

番直前の大事な時に体調を崩し、欠席となり、皆様に大変ご迷惑をかけたこと申し訳なく心からお詫びいたします。田中明岳さん以下、会場係担当の皆様改めて感謝します。

又私には筆耕の件がありました。会長が病院へ見舞にこられた折、大変気にされていられましたが、それまでには退院できる見込みであり、最悪の場合は一日外泊許可を受けても仕上げますと約束しました。担当の先生が回診の際「順調だな」と言われたので、すかさず自己管理に努めるからと退院を申し出て、特別早く帰宅できましたが、酸素の送りが悪いので、当分外出禁止の条件付でした。

退院翌日から仕事をして家人に叱られ、一日一時間ということで、役員、功労者、高齢者の賞状約百枚と、来賓胸章リボンの氏名書き約七十枚をなんとか仕上げました。

又、大会当日の許証授与の読みあげについては、副会長の千葉岳関先生が心よく引受けて下さり、私の役割はすべて終わりました。

当日、プログラムと時計をみながら、会場の状況を想像していた一日の、何と空しかった事：忘れられない六十周年となりました。

役割分担で無事終了

会場 福本 辰 岳

この度会場係りを担当した一人として、今回は中村岳先生が病欠席ということ、なんとんでも大会を無事成功させなくては、田中明岳さん以下会場係り全員で、前夜の舞台の準備を、そして当日は役割分担で行ないました。おかげ様で無事にお役目終了することができ、これも偏りに諸先生方の御指導と御協力のおかげと厚く御礼申し上げます。

役員皆さんの協力に感謝

接待・弁当・懇親会 沼田 岳 義

約一年前より準備委員会をもち、数回の打合せ会議を行ない、大会前夜を迎えました。大会前夜は大雨に見まわれ、それでも多数の役員皆さんは、明日を控えて最後の打合せを現地で行ない、大会の段取りを完全にすませ、大変なご苦労でありました。我々は駐車場の係りも受持っているのです、明日も雨だったら大変だなーと思い、家に帰っても気掛かりでならなかった。

併し当日朝目が覚めると、すばらしいお天

気でほっとしました。早目に会場にゆき、今回は庁舎の駐車場も借りておいたので、庁舎の警備員にバリケードを取り外してもらい、

我々役員の手で駐車場の整理を行いました。

今回は役員の方々が、非常に手際よく活躍してくれ、弁当、接待もスムーズに行なわれ、皆さんに喜んでいただけました。又懇親会は大変評判がよく、女性の方々がホステスがわりをつとめて下さって、来賓の先生方は大満足のようでした。役員の皆さんありがとうございます。心から御礼申し上げます。尚最後には、皆さんが協力して下さい、会場をきれいに片づけ掃除をしていただき、すばらしい最後のフィナーレでありました。

積立に御協力感謝

会計 矢嶋 岳悦

六十周年大会も盛会裡に無事終了いたしました。会員皆様方に五年間にわたり積立のご協力をいただき、感謝いたします。一人一人の会員の、吟を愛し、会を愛す気持ちの現れと心より御礼申し上げます。又各先生方には、お骨折りをかけ、会計がスムーズに運営できましたことを御礼申し上げます。

記録係としての感想

記録 草柳 武風

大会が始まった頃、記録係りの補助の立場という、やや気軽な気持ちで、お預りしたカメラを持って動き、大会開始の全景を撮りながら、ふと、ロシヤのバルチック艦隊を迎え撃つ連合艦隊が、鎮海湾より、名参謀秋山真之を中心に練りあげた作戦通り、対馬の予定戦場を目指して出航する、あの日本海海戦の始まりを思い出していました。事の大小はおいで、綿密に出来た今大会の運営マニュアルを机上に置いて各役員が、何回かの会合を持ち、当日に臨んだ気持は似ていると思いました。杉山、宇都宮両先生の下で、気軽に振舞わせていただいたとはいえ、今迄の大会は自分の吟の心配と、他の吟者の吟をゆっくり味わうことができましたが、今回はほとんど余裕がなく、進行が順調である事だけを祈ってました。万歳三唱のあと、初めて無事終了したことで、今迄と全く違った感懐を持ったことでした。

初めて裏方を経験したことは、今後いろいろな大会に出る時に、今回の運営の御苦労を

思いながら出場すれば、又一段と趣のあることだろうと思いました。

この大会が成功裡に終わったことを、心からお祝い申し上げます。

記念品係りを担当して

記念品準備委員 鈴木 岳抄

準備委員の段階で記念品係りを担当いたしました。不慣れな私にとっては大変心が重く、苦勞しました。まず記念品の選定にはじまります。来賓、役員功勞者、在籍30年、25年以上の方、80才以上の高齢者の方、全会員の方と、各部門別に品物を選定しました。膨大な数量で置場、配分にも大変苦勞しましたが、先生方の御協力で何とか任を果すことができました。

~~~~~ 8 ~~~~~  
今大会の記録として、又次回の大会の折の参考にでもなればと、各係りの方にひと言づつ書いていただきました。役員の皆様、ほんとうにご苦勞様でございました。



## 寒河江吟友会の詩友から祝詩

宇都宮 徳 岳

13時30分大会が盛会裡に終り、引続き来賓の先生方約60名と、当会大会役員70余名が一堂に会して懇親会が催され、終始和氣霽々たる雰囲気の中に大変盛り上り、懇親の実を挙げて、之亦成功裡に終了したことは御高承の通りである。

この懇親会で、寒河江吟友会の大泉瑞岳先生から後記の祝詩が贈られ、早速これを披露して満場の拍手を呼び、当会が姉妹会とかかゝる高雅な詩文の交誼を続けていることを斯界に披露する事ができて誠に同慶に堪えません。そこで、その祝詩を披露し「読み」と「意積」を私流に記してみます。

## 祝碩心会創立六十周年記念大会

寒河江吟友会 大泉 瑞 岳

遺訓恭承蓋世功 遺訓恭承す蓋世の功

師資歴代碩心隆 師資歴代碩心隆んなり

吟詩復古魁天下 吟詩の復古天下に魁がけ

傳統精華萬目崇 傳統の精華萬目崇し

(意 釈)

先哲の遺訓を大切に受け継ぐことは氣概が世を蓋る様に大変立派なことである。

碩心会は代々師匠も弟子もその会の名の如く秀れて大きな心が旺盛である。

詩を作ったり吟詠したりする吟道を世間に先行して六十年も前から復古している。

その見事な傳統は多くの人が尊敬の目で見ている。

※すばらしい祝詩をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

## 華道を受持つて

岩崎 岳 恵

昨夜来の雨もからりとあがり、山の緑も美しく、絶好の祝賀日和となりました。来賓の先生方の出足もよく、晴々とした氣持で六十年大会の幕明けとなりました。

修礼に始まり、会員吟詠もひときわ熱が入り、好調のうちにいよいよ書、画、華道吟の出番となりました。静かに緞帳があがり、尺

八の音色にのって短歌の朗詠が始まり、本詠の終るまでに心を落ち付かせて、15分の限られた時間内に、すべて納めなければなりません。早過ぎても、遅すぎても様にならず、間合いを計りながら、一本一本心をこめて活けあげました。練習を重ねた立派な吟に支えられ、籠、壺、竹筒、薄端とバランスをとりに、短時間にしてはまずまずの出来だったのではないのでしょうか。吟、又会場係の方々には大変なお世話になり厚く御礼申しあげます。

## 書画華道吟の中で

### 大任であつた桜の絵

佐久間 爽 岳

碩心会創立六十周年記念吟道大会に、今回書画華道吟に出させていただき、その任の重さが身にひしひしと日毎に迫るのを覚えめました。約10分間で60号の大きさに描くことを思うと緊張の連続でした。華道吟の詩に合うように満開の桜を描くことに決め、稽古を重ねておりました。松井正岳先生はご多忙の中、

大きい画架を作って下さいました。

そして当日、矢島悦岳先生のご指導による立派な吟の流れのもとに書道、華道、画道が今、同時進行していると思つた瞬間、それは大感激でした。あとはこの与えられた時間内に仕上げねばと、祈りと共に一生懸命で描き上げました。無事に舞台をつとめさせていただくことができましたことを、心より厚く御礼申しあげます。

当日は進行係でしたが、構成吟の結びの文章は当日に入手の予定であつたところ、届かなかつたため慌ててしまいました。

そのため急遽、ナレーターをつとめた西山蓉風さんと、構成吟の進行中に舞台の袖に於て二人でそれぞれに考え、二つの文章を併せて、構成吟「三浦半島の歴史を尋ねて」の終章を結ぶことができました。

ナレーター「相模の国御浦郡の歴史の時に心遊ばせていただくことができましたでしょうか……」とまだあとへ続きましたが、フィナーレの唱歌へ時間的にも上手につきなご、綴帳が下りた時、当事者全員が誠にホッといたしました。これが本当の楽屋話でございます。

## 六十周年大会あれこれ

○昨夜来の大雨がうそのように晴れ上り、まさに碩心会大会を祝福してくれたよう。特に女性の場合は、和服を着なくてはということではどれほど心配したことか。この度の大会で、この晴天のありがた味が一番忘れられないことでしょう。

○根岸岳萃先生、三井岳隴岡先生のお体のことを、誰しもが気遣っていました。両先生共、堂々と舞台に於て立派な吟を聞かせて下さり、会員の皆さんから、よかつた、よかつたの声がしきりと聞えました。

○記念写真がたくさん撮れましたが、特に書画華道吟の写真は、バックの色あいとがマッチして、又書、画、華、吟者がバランスよく並びすばらしく撮れていました。多くの役員の方、特に受付係等は、ほとんど会場内の様子を見ることができず、この写真を見て、前回もビデオがほしかったということ思い出しました。

○進行も順調に進み、事故もなく無事に盛会裡に終了でき、これも全会員一同が一致協力の賜ものなることを痛感しました。

## ◎行事予定

○第22回横須賀第二地区大会

日 時・7月6日(日)9時30分より

会 場・横須賀文化会館

○碩心会秋期審査会

日 時・9月21日(日)

会 場・逗子市立図書館

(名簿雅号の訂正)

309 永山洋山<sup>x</sup>を悦山に訂正

(住所変更)

443 鈴木嘉代子(新)三浦市南下浦町上宮田

一七五八一

☎〇四六八一八八一二七二一

(入 会)

477 原島公子 逗子市逗子3-4-9

(若葉) ホワイトホールハウス二〇三

(仲戸川輝子方)

☎〇四六八一七一一二七六九

(退 会)

118 金子訓岳(死)(真澄)

大会を終えホツとする間もなく、月報の編集にとりかかりました。何かと不行届きの点多々あると思いますが御寛容の程。